

IFReC岸本基金フェローシップ

大阪大学免疫学フロンティア研究センター（IFReC）は免疫学における様々な分野の研究者を支援するためのフェローシップ・プログラムを設置しています。

このプログラムはIFReCにおける免疫研究の発展と国際交流の発展を促すため、海外の研究者を支援することを目的としています。

【対象者】

IFReCの免疫学研究者と共同研究を行なうことを希望する、日本国籍を持たない若手研究者。

【支援内容】

特任研究員(常勤)として最長3年間雇用します。（契約は1年ごと。）

勤務場所：大阪大学吹田キャンパス

勤務時間等：国立大学法人大阪大学任期付教職員の労働時間、休日及び休暇等に関する規程による

給与：年俸約4,700,000円。

その他、国立大学法人大阪大学任期付年俸制教職員(特任等教職員)給与規程による。

社会保険等：国家公務員共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険に加入

【応募書類、応募方法】

以下の応募書類をメールで下記連絡先に提出してください。

（応募書類はすべて英語で作成）

- 履歴書
- 論文目録
- 研究計画書（約1000ワード。採用後所属を希望する研究室をご記載ください。）
- 過去5年間に受けた奨学金のリスト
- 推薦状3通

【応募期限、採用時期】

5月末日応募期限（結果通知6月末）： 当年の10月1日以降採用
11月末日応募期限（結果通知12月末）： 翌年の4月1日以降採用

【連絡先】

国立大学法人大阪大学免疫学フロンティア研究センター

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘3番1号

Email: ifrec-office@ifrec.osaka-u.ac.jp

（メールの件名を、「Application for Kishimoto foundation Fellowship」としてください。）

IFReCに関する詳細は、当センターのウェブサイト

<http://www.ifrec.osaka-u.ac.jp/index.htm>

をご覧ください。

【岸本基金概要】

岸本基金は、岸本忠三博士をたたえ、2008年に設立されました。岸本博士は1980年代～90年代に免疫反応を刺激する鍵分子である、インターロイキン6（IL6）の機能を解明しました。

彼は後にキャスルマン病、リウマチ性関節炎、若年性特発性関節炎といった免疫障害を治療するための、抗IL6レセプターに基づいたトシリズマブ療法を生み出しました。

岸本基金は岸本博士が元総長であった、大阪大学における生体臨床医学の研究と革新を支援します。

【選考、雇用人数】

選考により、雇用する者を決定する。

なお、各応募期限につき、2名程度を上限とする。